



様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年6月27日

長崎市長 殿

提出者

住 所 長崎市片淵2丁目5番1号

氏 名 社会福祉法人 恩賜 済生会支部

済生会長崎病院 院長 衛 藤

電話番号 095-826-9236



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

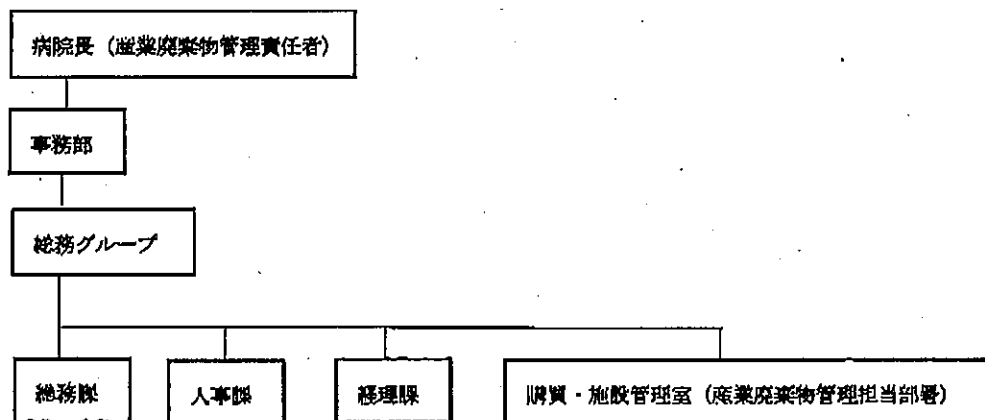
事業場の名称	社会福祉法人 恩賜 済生会支部 済生会長崎病院
事業場の所在地	長崎市片淵2丁目5番1号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	8311 : 一般病院
②事業の規模	病床数 205床
③従業員数	524名(令和5年6月1日)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	委託業者収集運搬→中間処理場:焼却→最終処分場:埋め立て

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	
	排出量	121.65 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 掲示物による分別の徹底		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	
	排出量	120 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 掲示物による分別の周知継続。破損分の張替え。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ プラスチック容器50L・20Lでの、段ボール容器での廃棄
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ プラスチック容器、段ボール容器使用継続。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定はない		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定はない			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定はない		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染医療廃棄物	
	全処理委託量	121 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		121 t
	(今後実施する予定の取組等) 2023年4月1日より導入		
※事務処理欄			